

# 蕨市議会・12月定例会

12月定例会が11月26日から12月16日までの21日間の日程で行いました。市長提出議案11件、議員提出議案1件委員会提出議案1件について審議をしました。

公明党蕨市議団は、平成22年度予算に影響を与える議会でもあり、慎重かつ細かな視線で、市民の立場から、生活者優先の住みよい活力のある街づくりを目指して、委員会審議・一般質問において徹底的に論陣を張りました。その後、討論・採決を行い閉会されました。

## 皆様の真心915点を寄贈させていただきました。

### 女性局ボランティア



平素より公明党の活動に対してご理解ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年11月8日(日)松原会館において、皆様からお預かり致しました品々(石鹸・洗剤・タオル・シーツ等915点)を社会福祉協議会に寄贈させて頂きました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。  
公明党蕨支部女性局

**平成22年度予算要望** 公明党蕨市議団は、平成21年12月3日(木)に市長に対し平成22年度の子算要望を行った。今回は、全130項目に渡り市民の皆様が安心安全な暮らしができるよう、強く主張をしてきました。

公明党蕨支部のホームページができました。ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.komei-warabi.com>

※Yahooで「公明党蕨支部」「蕨市公明党」と検索すると検索結果のトップページに掲載されています。

## 新ビジョン「新しい福祉・教育・平和をつくる公明党『人道の先進国』日本へ」

- ・ 地域で支える協働型福祉社会
- ・ 子どもの幸福を最優先する国
- ・ 核廃絶、環境で世界に貢献

党员、支持者の皆さまの生の声を真摯に受け止め、公明党の旗を高く掲げて闘い抜く決意を込め、10年後、20年後の日本と世界の将来を見据えた新しいビジョンを提案しました。「人間の尊厳」を守り、一人を大切にしていくこそ人道に立脚した政治です。その基盤となるのが、福祉・教育・平和です。公明党は21世紀を「人道の世紀」とすべく、その先駆を切る国づくりへの決意を込めて「人道の先進国」を掲げました。

自治体の3層構造からなる「地域主権型道州制」を提案します。

子どもたちの幸福を最優先する社会を築くには、「社会のための教育」から「教育のための社会」への転換が必要です。親の所得格差からの子どもの教育格差をなくし、若年層の雇用確保のために小中高校におけるキャリア教育、生涯学習の拡充が必要です。

貧困や飢餓、紛争、環境破壊、麻薬などのあらゆる脅威から「人間の安全保障」の実現を進めます。また、「核のない世界」をめざし、「平和の党」公明党の使命として、核兵器禁止条約を国際社会の規範として確立してまいります。併せて地球温暖化に歯止めをかけるため、温室効果ガスを2025年までに25%削減する目標を掲げ、全力で取り組みます。

「協働」とは、個人が自立して生活する「自助」、地域住民が支えあう「共助」、行政による「公助」をバランスよく組み合わせ、人類史上、空前の超高齢化社会に突入していく日本は、独自のモデルを構築しなければなりません。それが、「地域で支える協働型福祉社会」です。中央集権的な構造から、地域主権型の構造へと転換をめざし、国-道州-基礎



発行  
戸田総支部  
蕨支部  
2010年1月

市民相談は

お気軽に公明党へ!

**賀 正** 新年あけましておめでとーございませう。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



- 市議会議員 大石幸一 ☎ 432-2450
- 市議会議員 高橋悦朗 ☎ 443-9110
- 市議会議員 松本 徹 ☎ 446-2093

ごあいさつ

新しい年を迎え、皆様方におかれましては、清々しい出発をなさったこととお慶び申し上げます。私も、今夏の参議院選挙では新たに全国・比例区にて挑戦をさせていただくこととなり、清らかな決意で新年を

迎えさせていただいております。「いちばん近くで動く、働く。」—公明チーム3000の先兵として、どこまでも「一人を大切にする政治」を貫いて参ります。今年も皆さんの「底力」を徹底サポートする決意です。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

埼玉県本部代表  
参議院議員

西田 実仁 まこと

ごあいさつ

党员支持者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、私も公明党市議団に対して、多大なる御支援・御支持を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も公明党は、3000人を超える全国の地方議員と共に山口新代表の下「KOMEIチーム3000」をスローガンとして一致団結して新たなスタートを切りました。

特に、新ビジョンとして、「公明党三つの挑戦」

- 一、福祉への新たな取り組み
- 二、教育の充実への取り組み
- 三、平和・環境への問題への取り組み

を今まで以上に真剣に取り組んでまいります。

私も暮らしている蕨市にとっても、まだまだ足りない点が多くございますので、しっかりと調査研究をして「公明党三つの挑戦」を果たしてまいります所存でございます。

来たるべく本年7月に行われる参議院議員選挙に向けて、西田まこと参議院議員を比例区の候補者として擁立致しました。「断じて勝つ」の精神で動いてまいります。

昨年にも増して、皆様方の御支援・御指導・御鞭撻を賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

平成二十二年正月

# 一般質問・要旨

松本 徹 議員

**(問)平成22年度の予算編成における基本方針、財政の現状、今後の財政見通しについて。**

(答)市の予算編成方針といたしましては、政府の予算編成の動向を注視し情報収集に努めながら、無駄ゼロの徹底を行い、景気や雇用環境が急速に悪化している社会経済情勢であっても、市民が安心して暮らせるよう、創意工夫と市民の方と力を合わせ、更なる発展のために取り組んでまいります。

次に、財政の現状と今後の財政見通しについてですが、歳入の根幹である、市税収入につきましては、景気の急速な悪化に伴い、個人所得の減少や企業収益の大幅な落ち込みにより、平成21年度当初予算と比較いたしましたして、4億円程度の減という大幅な減収が見込まれました。戸田競艇事業収入につきましても、1億2,500万円の減となり、歳入環境の悪化が懸念されております。一方、歳出につきましては、経常的経費の見直しを図り、政策的経費の財源確保を進め、健全な行財政運営に努めてまいります。

**(問)ジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及について、その後、どのように検討されたのか。**

(答)ジェネリック医薬品、いわゆる後発医薬品につきましては、国からの委託により埼玉県では、平成20年10月に「埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会」を設け、普及啓発活動を行っています。平成21年4月における埼玉県内の普及率は、18.6%で全国平均の18.3%を若干上回っている状況であります。医師会との協力を仰ぎながら、その普及に努めていきたいと考えております。

**(問)高齢化社会とともに介護事業の必要性・重要性が高まっている介護保険事業計画について、及び早期に特別養護老人ホームを増設する考えはないか。**

(答)県が指定します特別養護老人ホームは、社会福祉法人が、その設置認可を県へ申請するにあたり、市の意見書の添付を求められるので計画化の段階で県への相談と並



行して、市へも相談がございます。現在のところ事業者からの問い合わせはありますが、計画化まで至っていません。今後、「小規模多機能型居宅介護」と合わせまして、再度公募するなど計画の実現に向けて努力してまいります。

高橋 悦朗 議員

**(問)「事業仕分け」に取り組み真意として、本市での行政評価は、行政内部での自己評価であり、今度の国の「事業仕分け」を実施することで、外部の第三者や市民の新たな視点での事務事業評価を確認することができる。本市のいままでの取り組みと公表はどのようにされるのか。蔵版「事業仕分け」の取り組みは出来ないかお答え下さい。**



(答)本市における行政評価制度は、事業の必要性・有効性・効率性等の事業評価を行い、事業の改善・見直しを図ろうとするものである。12月下旬にも取りまとめ次第、議会、市のHPに公開致します。事業仕分けは、厳しい財政状況化にあつての有効な手段であり、行政評価と併せて調査研究を進めていきます。

**(問)自主財源の確保として、2年前の最初の一般質問でもしましたが、市のHPのバナー広告、封筒、パンフ、案内標識、公共施設、コミュニティバス、公用車、ゴミ収集車等への広告利用による収入を計る取り組みは出来ないか。**

(答)厳しい財政状況下で、自主財源の創出という観点から進めていくべき事業である。バナー広告については、要綱の承認を受け、今月より広告の募集を開始し、既に、来年2月から6ヶ月の掲載希望を頂いております。今後も、市有財産への広告の活用については、できるものから積極的に進めていきます。

**(問)防犯灯について、今後新設・建替設置においてLED防犯灯利用は出来ないか。また、経費削減になる電気料一括払いの検討は出来ないか。**

(答)現在設置の防犯灯は、2,820基となっていますが、LED灯は、白熱灯や蛍光灯に比べ、寿命が長いことや、低消費電力で省エネや環境への配慮にも貢献できることから、今年度よりLED防犯灯を設置してまいります。電気料一括払いによる割引は、口座引き落としで、1年か半年の前納が条件で、1契約について月10円50銭が割引となります。防犯灯のとりまとめ事務

や支払方法を調査・研究してまいります。

大石 幸一 議員

**(質)新型インフルエンザワクチン接種の本市の接種計画と副作用等について、どのように伝えていくのか。**

(答)蕨市においても、厚生労働省が示しております優先順位と、スケジュールに基づき、医療機関が接種を実施しているところであり、また、ワクチンの接種に関しては、効果とリスクをご理解いただいた上で、接種するか否かを判断していただくようお願いしております。具体的には、接種時に医師から説明をし、同意を得ることになっております。

**(質)昨年も質問した65歳以上の高齢者の方に対する肺炎球菌ワクチン接種について、その後、どのように検討されたのか。**

(答)肺炎球菌につきましては、高齢になるにつれて免疫力が弱くなることから、肺炎、気管支炎等の呼吸器感染症や中耳炎、髄膜炎などの病気を引き起こす原因となることは認識しております。こうした中、今年の11月時点での県の定期予防接種に関する調査により、県内では10市町が一部公費負担により実施しているところであり、その中で、課題としては、ワクチン供給量の問題、副作用に対する補償等の問題、などが挙げられております。また、予防接種の助成につきましては、後も、国の動向や優先度等について、地元医師会の意見も踏まえ、実施に伴う問題点と併せて更に研究してまいります。

**(質)小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの接種について本市の見解を伺いたい。**

(答)肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による子どもの細菌性髄膜炎を予防するワクチンであり、ヒブワクチンはインフルエンザ菌b型という細菌による髄膜炎を予防するワクチンであります。

専門家により、年間500人、600人の子どもが発症しており、ペテラの小児科医でも早期診断は難しく、その点ワクチン接種の意義は大きいと述べております。

このようなことから、小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを用いて細菌性髄膜炎の予防となることは認識しております。

